



発行・荒川区体育協会 (荒川区荒川 2-2-3 荒川区教育委員会社会体育課内)

発行責任者・高田忠則

荒川区体育協会の皆様へ

荒川区長 西川 太一郎

荒川区体育協会におかれましては、日頃から区民のスポーツの振興に多大なるご貢献をいただき、厚く感謝申し上げます。

貴協会は、昭和26年の設立以来、50数年の長きにわたり、区民のスポーツ振興のために区民体育大会の開催、スポーツ団体の育成、研修会・講習会の開催などの事業を活発に展開され、今や加盟27団体を擁する荒川区のスポーツ振興の中心的存在として大きく発展を遂げられました。

また、各スポーツ団体に参加されている方々だけでなく、区民が身近なところでスポーツを楽しむことを目的に「あらかわ生涯スポーツフェスティバル」を平成17年から開催しております。この「あらかわ生涯スポーツフェスティバル」は、現在、4回を迎え、多くの区民の皆様が参加するスポーツイベントとして親しまれております。

さらに、現在、総合型地域スポーツクラブ設立に向けて荒川区体育協会が中心となり活動されていることにつきましては、子どもから高齢者まで、だれでもが生涯にわたって主



体的に健康・体力づくりやスポーツに取り組むことができる「生涯スポーツ社会」の実現に大きく寄与するものと御期待申し上げます。

区といたしましては引き続き、貴協会との連携を一層深め、区民のスポーツ環境の整備に努めてまいりますので、今後とも、ご理解とご協力をお願いします。

結びになりましたが、荒川区体育協会の益々の発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から御祈念申し上げます。

創立60周年を迎えて

ソフトテニス連盟

昭和23年、戦後間もない時代に当連盟は創立し、昨年10月で創立60周年を迎えることができ、11月15日にサンパール荒川にて創立60周年記念式典・祝賀会を開きました。

こうして60周年を迎えられたのも、歴代の会長はじめ、先輩方の努力と教育委員会・体育協会のご支援によるものと感じ、心から敬意と感謝を申し上げる次第です。

創立当初は活動の拠点は旭電化のコートで、区営コートはありませんでした。その後、原公園コート・自然公園コートが開設され、平成3年に東尾久運動場に砂入り人工芝コート5面が開設されるにつれ、競技人口も増加していきました。現在当連盟には、12団体が加盟し加盟者数も300人以上になりました。

大会を開催すれば12団体からのエントリーはもちろん、近隣区・城北5区からの参加、さらには千葉県・埼玉県・神奈川県など近県からの参加も増えてまいりました。これは荒川区のソフトテニスのレベルが認められたことと喜んでおります。

周辺地域からの強豪選手の参加という刺激により、荒川区のソフトテニスのレベルもさらにアップし、



平成19年の都民体育大会では3位に入賞することもできました。

たくさんの方々の参加で大会が盛り上がるのはうれしいことですが、大会の試合が消化できにくくなっており、種目ごとの大会開催などを思案しております。

当連盟は技術向上と共に、ソフトテニスの普及と選手の健康づくり・体力づくりにも努めており、生涯スポーツとして皆様に楽しんでいただきたいと思います。

今後も連盟の活動が長く続けられますように、頑張っていきたいと思います。



卓球連盟

荒川区卓球連盟は、昭和21年9月に出来た荒川卓球同好会が母体になり、昭和24年の体協の前身である荒川区文化委員体育連盟発足時の9団体の一つとして加盟しました。

その後、荒川区体育協会の発展と共に卓球連盟の登録会員も年々増え、今年度は400人を超えています。現在連盟の事業は区民大会を含め区内の試合が6回、オープン大会を年2回開催しています。今年1月の会長杯オープン大会では、関東近隣より330人以上の選手の参加が有り、近年にない盛り上がりになりました。その他にスポーツセンターの卓球場で週2回開かれている卓球教室にコーチとして連盟役員を派遣し初級者や中級者の指導に当たっています。又、毎週宮前小・大門小・二日小の3校で行われているスポーツひろばの技術指導員や自主管理指導員とし

て参加しています。今年度の新しい試みとして近年さかんになって来ました、ラージボール卓球の講習会を日本卓球(株)よりコーチを招いて行いました。

来年度は第1回ラージボール大会を開催する予定になっています。これにより新たな会員が増える事を期待しています。
原田 孝



軟式野球連盟

軟式野球連盟は、平成18年に創立60周年を迎えることが出来ました。当連盟は、少年と一般社会人に二分しています。少年は、中学生の少年と小学生の学童に分かれています。一般社会人は、1～5部及び40才以上の壮年部があり今年も148チームの参加となりました。競技場は、少年が扇大橋少年野球場、一般は、西新井橋の河川敷野球場になります。また、大会前に、審判技術講習会を開催します。区報にも掲載し、一般の参加者も参加していただいています。今年度は2月15日(日曜日)に行われ、少年の審判部を含めて、120名の参加がありました。平成21年度は、特に(財)東京都軟式野球連盟の審判指導員に依頼

し例年とは違う雰囲気の中で、午前中は、発声練習、投球判定、フォーメーション。午後は、ノックによる審判動作、紅白戦による判定を行い無事終了しました。
西 清志



練馬区体育協会60周年記念式典

2月7日 豊島園



北区体育協会60周年記念式典

2月14日 北とぴあ つつじホール



平成20年度 荒川区体育協会体育功労者



平成20年度 荒川区体育協会体育功労者

ラジオ体操会連盟	金子 堅 一
バレーボール協会	弦 巻 隆
合気道連盟	田 中 義 昭
スキー連盟	瀧 澤 裕 子
釣魚連合会	竹 田 正

おめでとう御座います

平成20年度 荒川区体育協会優秀選手表彰

水泳連盟	田 澤 一 謙
バレーボール協会	丸 山 敦 史
合気道連盟	三 牧 隆 裕
スキー連盟	北 野 真 佐 子
ソフトテニス連盟	市 川 克 己
釣魚連合会	安 藤 義 雄
ミニテニス協会	北 村 真 知 子



ジュニア育成地域推進事業・テーピング講習会

第1回 8月2日 100名参加 第2回 9月27日 60名参加

恒例のテーピング講習会がスポーツセンターで行なわれました。

荒川区内の接骨医の先生方にお忙しい中おいでいただき講義と実技をお願いしました。



第17回荒川リバーサイドマラソン

リバーサイドマラソン前々夜祭

11月14日(金) ムーブ町屋 ムーブホール 300名

出席者 瀬古 利彦氏 ロサンゼルス・ソウル・オリンピック マラソン選手
千葉 真子氏 パリ世界選手権マラソン・銅メダル
松村 邦洋氏 バラエティ ドラマ で活躍の芸能人

東京都オリンピックムーブメント推進事業の一環として行なわれました。

マラソン選手として活躍した、瀬古さん、千葉さん、そして7月にオーストラリアのゴールドコーストマラソンに出場した松村さん、3人でマラソンの楽しさ、素晴らしさをお話していただきました。



第17回リバーサイドマラソンを終えて

年々参加者も増え、第17回目をむかえた今回は1,574名もの申込みがありました。当日は雨が降ってしまいスタッフの皆様は大変だったと思いますが、大きな事故もなく大会も大盛況でした。スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。 久保主事

第17回荒川リバーサイドマラソン

11月16日(日) コース 荒川河川敷
受付者 1105名

種目	1位
小学男子 (4~6年)3km	中村 賢梧 11分23秒
小学女子 (4~6年)3km	倉持 菜月 12分37秒
中学女子 3km	丹後 若菜 12分39秒
中学男子 5km	芳賀 有哉 17分32秒
一般男子の部 (15歳以上)5km	加賀谷 輔 18分41秒
一般女子の部 (15歳以上)5km	齋藤 勝子 23分27秒
一般男子の部 (39歳以下)10km	北爪 直人 34分47秒
一般男子の部 (40歳以上)10km	石浜 正男 36分38秒
一般女子の部 (15歳以上)10km	谷 万里子 43分26秒



あらかわ生涯スポーツフェスティバル2008

楽楽ニュースポーツ&スポーツ教室

9月15日(敬老の日) 荒川総合スポーツセンター

種目 カロリング ドッジビー インドアペタンク ビーチボール キンボール
サッカー大会 ラージボール卓球教室 ミニテニス教室

多くのスポーツでいい汗を流し、小学生以下でも楽しめる、やや大きめのボールの卓球教室、考案者によるミニテニス教室、野球場ではサッカー大会など一日楽しんだ。



ジュニア育成推進事業

ジュニア育成について

荒川区体育協会では平成20年度より、ジュニア育成に積極的にチャレンジするように各団体に働きかけを始めました。本年度は柔道、バドミントン、バスケットボールの3団体が東京都体育協会の「ジュニア育成地域推進事業」の助成をうけ多種多様な事業を開催しました。

私の所属するバスケットボール協会は「ミニバス教室」を6回、「10/12 ミニバス交流大会」、「2/15.22

区内中学1年生バスケットボール大会」を実施し、大きな反響と育成の成果、近隣区との交流を深めることができました。今後も5年計画でジュニア育成を継続し定着させていきます。

高田理事長を先頭に、荒川区のスポーツ水準の向上を図り、地域におけるジュニアスポーツの普及とジュニア選手の発掘、育成を推進していきましょう。

「荒川区から育てよう国体選手、第2第3の北島康介」
足立清二

荒川区ミニバスケット交流大会

10月12日(体育の日) 荒川総合スポーツセンター 100名



あらかわ生涯スポーツフェスティバル

親子で体力アップ

12月14日(日) 荒川総合スポーツセンター ふるさと文化館

参加者 40組 229名

雨の中の一日を、ウォークラリーでふるさと文化館で、俳句を読み、クイズを解き、焼き芋を食べ、忍耐力テスト、トランポリン、バランスチャンピオン、ふうせんわり、フリースロー、ターゲットなど6種目のポイント制で競われました。



バドミントン協会

荒川区バドミントン協会は、昭和38年に前身である荒川区バドミントン連盟として発足し、昭和63年に名称を変更、現在に至るまで40年以上にわたり荒川区体育協会に参加させて頂いております。

当協会の活動といたしましては、試合につきましては一般男子・一般女子レディースの部から構成し、トーナメント・リーグ戦からなる個人戦、クラブ対抗となる団体戦、3月には当協会員の技術力向上を目的に他地区から参加者を募り開催する荒川オープン選手権大会、それ以外に1年に2~3回、レディースの部が主催し、実業団選手を招き、技術指導講習会を行っています。

2013年には東京国体の開催、2016年のオリンピックの候補地として東京の名があがっていることもあり、平成20年度は新たな試みとして、(財)東京都体育協会・東京都が主催する「ジュニア育成地域推進事業」に参画し、荒川区内の中学校の練習に参加

させて頂き、当協会の指導部が中心となり主に競技における技術面の講習・指導をさせて頂いております。

その一方、スポーツ広場活動への参加を通し、若年層から高齢者に至るスポーツ愛好者の裾野を拡げていく活動を続けています。

私達はバドミントンをこよなく愛する仲間たちと共に、諸先輩の築いてきたものを礎に、スポーツ振興・生涯スポーツのさらなる発展に力を注いで行きたいと考えています。

久保田 剛





弔意 荒川区体育協会・会長 藤岡 董之氏 (スキー連盟会長)
80歳 12月4日 ご逝去

さようなら 藤岡会長

謹んで藤岡会長の御霊に申し上げます。

会長と私達がこの世に於ける最も悲しいときに立ちましたのは、昨年12月4日のことでした。同じ年の2月の新年会では久しぶりに元気なお姿を拝見し、その後も順調に回復されることを誰もが祈念しておりました。8月1日には80歳となられ傘寿のお祝いもされました。まさかその4ヶ月後に不帰の方になるとは思いもしませんでした。

藤岡会長はまさにスポーツと共に生きて来られました。体育協会に於いては永年にわたり副理事長、理事長、会長と務められ、また体育指導委員会会長として体育協会と体育指導委員会の架け橋となり、スポーツ体育の普及、指導に邁進されました。荒川区特別功労者、文部科学大臣表彰、法務大臣表彰等枚挙に暇が無いほどの表彰を受けておられますが、驕らず偉ぶらず分際なく私達に接して下さいました。豪放磊落で私利私欲の無い方でした。大きな声で話され笑い、よく飲みよく食べ豪快な方でした。そして他人を気遣う優しい方でした。私達はさびしいです。

会長 私達はあなたの教訓を守り体育協会を盛りたてて行きます。親とも師とも仰いでおりました会長の御霊を再びこの世に帰す手だては無く、悲嘆にくれる毎日は会長の本懐ではないと解っているからです。先に逝かれた体協の重鎮の方々とはお会いになられましたか。これからの私達を見守ってください。心からご冥福をお祈り申し上げます。

事務局 大田



弔意 荒川区体育協会・前副会長 谷内 博氏 (釣魚連合会副会長)
79歳 11月25日 ご逝去

長い間お疲れ様でした

谷内 博氏 (荒川区釣魚連合会・副会長) が昨年11月25日、79歳でお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りいたします。

釣魚連合会で長い間、副会長として、体育協会のパイプ役を務めて頂き、大変なご苦勞をお掛けし、良きアドバイスもいただきました。

12月4日にご逝去された、藤岡体育協会会長とは長い間、理事長・副理事長の肩書きを超えた深い関係で、体育協会を盛り上げた功績は偉大だと思います。

個人的にも30年近くお付き合いいただき、釣魚連合会、体育指導委員、そして体育協会と組織のあり方、運営の仕方など多くの事を学びました。それが今一番の財産になっています。同じ事が藤岡会長にも言え、谷内副会長以上に怒られました。それ以上に陰でホローが有り感謝に耐えません。

わずか10日余りの間に、二人の恩人を失い胸に大きな穴が開いた思いで一杯です。

今頃、お二人で仲良く大きな声で話し、酒を酌み交わしている事でしょう。

私たちは、体育協会は高田理事長を筆頭に今まで以上に頑張っ進んでまいります。

釣魚連合会 坂 昇